

明治四年

豊後国大分郡口戸村指出帳

立川輝信

大分郡
口戸村

一、銀三拾三匁壹分壹厘 茶○野年定納

一、同五匁五分 平野山長三丁
横式町 山御運上不定

此反別壹町式反歩

右御林山薪之儀ハ、先年松平大和守様、御時代請山請藪ニ当村江被仰付、銀五匁五分之御連上、年々相納来、其後、高城村江下請為致、壹ケ年ニ銀三匁六分宛、当村江取、秣為レ刈来申候、併木上村枝郷世利村江下請為致、壹ケ年ニ銀壹匁五分宛当村ニ取秣為レ刈来申候

是ハ村役ニ而仕来申候、尤大破、建替之節ハ近方御林ニ而材木被下来候

一、肥後、薩摩往還御座候、但シ人馬之儀ハ出不申候、諸家様通行之節ハ取繕、長七丁、壹丁ニ付、人足式人宛、郡中ハ助合来申候

一、田菘反ニ付、粃菘斗宛蒔申候

一、同菘反ニ付大麦菘斗五升宛蒔申候

一、同菘反ニ付小麦菘斗宛蒔申候

一、畑菘反ニ付大豆三升宛蒔申候

一、田方御檢見、秣彼岸過十四五日立候時分被遊候

一、当村ニ七嶋稼仕来申候

一、諸役、高割ニ仕来申候

一、御年貢、郷蔵江相納候節ハ審手貳人、番給米四斗宛村方方出来申候

一、庄屋御用ニ付、所々江罷越候節ハ、馬菘疋、人足菘人入用共、惣百姓出シ来申候

一、庄屋方江百姓方菘ケ年三度宛加勢仕来申候

一、組頭之儀(カ)ハ菘人ニ付、持高七石迄諸役相勤不申候、尤御扶持米被下候御公役ハ、百姓並ニ勤来申候、又御用ニ付所々江參申候節ハ諸遣銀惣百姓方出申候

一、寺、菘ケ寺 真宗、善妙寺

是ハ御貢地ニ而御座候

一、浅草八幡社 菘社

是ハ御貢地ニ無御座候

一、天満神社 三ヶ所

是ハ御年貢地ニ御座候

一、佐比社 菘ケ所

是ハ御年貢地ニ御座候

一、御年貢津出シ、本三ツ川村御蔵ニ納来申候

但シ道法三里半

一、土橋式ケ所御座候

一、米五斗三升 橋料米

是ハ前段之通取立申候

一、当村御田地用水井手、種田川ヲ往吉方用來申候、井手掘敷米銀、当村方他所江出シ不申候、尤当村江茂取不申候

一、川除沓ケ所 長拾五間

高三尺
馬踏半間
根敷沓間

一、同沓ケ所 長四拾間

同上
高三尺
馬踏半間
根敷沓間

一、同沓ケ所 長四拾間

字露向
高三尺
馬踏半間
根敷沓間

一、同沓ケ所 長三拾八間

字岩崎
高沓間半
馬踏沓間
根敷六間

一、同沓ケ所 長式拾間

字平野川原
高沓間二尺
馬踏沓間
根敷五間

一、同沓ケ所 長百七間

同所
高沓間三尺
馬踏沓間
根敷五間

一、同沓ケ所 長六拾貳間

同所下
高沓間
馬踏三尺
根敷沓間半

一、字田島裏
同壹ヶ所 長五拾間

高五尺
馬踏五尺
根敷貳間

一、字露内
土手切拾ヶ所 長八拾三間

高六合五勺
馬踏五合
根敷貳間

一、同敷之外
川岸欠壹ヶ所 長九拾間

横平均壹間
高平均五合

一、字田嶋川原
石刻壹ヶ所

川除九ヶ所

右前々御上様方御普請被成下候場ニ而御座候

一、溜池、堤、算、伏樋当村ニ無御座候

一、御水帳貳冊

是ハ慶長十三年竹中伊豆守様御竿ニ而写御座候

一、惣家数六拾五間

内

庄屋 壹軒

本百姓 六拾三間

寺 壹軒

一、惣人数四百貳拾五人

内

男、貳百貳拾人

女、貳百貳人

出家、三人

一、隣郷、白杵御藩御支配所

高三百貳拾五石七斗六升 市村

右ハ当村御高札場方市村御高札場迄、道法拾壹町御座候

一、分郷村ニ而無御座候

一、牛馬六拾八疋 内牛三拾七疋
馬三拾壹疋

一、御高札 三枚

当村方熊本御藩御支配所、鶴崎湊江道法四里

岡御藩庁江

道法九里

同御藩御支配所、三佐江

道法四重

白杵御藩庁江

道法七里

日出御藩庁江

道法七里

日田御県庁江

道法貳拾壹里

同御県御出張別府江

道法五里

府内御藩庁江

道法貳里

杵築御藩庁江

道法拾里

佐伯御藩庁江

道法拾四里

一、御納米、大豆四斗入菘俵ニ付込米菘升式合宛ニ而納米申候

一、御口米、御物成菘石ニ付三舛宛納來申候

一、御口銀、小物成百目ニ付三匁宛納來申候

一、千石夫

是ハ千石ニ式人宛割合出シ來申候

一、千歲御出張所水夫式人

是ハ三郡割合ニ而出シ來申候

一、郡夫御普請御扶持米、菘人ニ付五合宛被下候

一、是迄五人組御改、子、卯、午、酉ニ御座候其節、帳面仕立差上申候、宗門御改五ヶ年目ニ菘度御座候

一、諸御普請御用竹木薪、伐出シ來不申候

右之通村中之儀、委細不殘書上申候、以上

明治四年未六月

口戸村組頭

佐藤 萬治 印

同

同 嘉五郎 印

同

秋岡 覺藏 印

同

横山儀平 ㊦

同

池辺専蔵 ㊦

同 村庄屋

柳井弥源吾 ㊦

備考 1、本書原本、毛筆書き半紙九枚半、但表紙共巻冊

2、本原本を昭和三十拾九年一月九日、所蔵者口戸柳井富人氏（元庄屋の分家、本家は東京？移住）より立川輝信借用して写

3、然るに右原本同月十五日返本の約束のところ同十三日筆者大分市内持ち廻り中紛失、申訳なき次第。

（大分県地方史研究会常任委員）

明治八年 三月改正 第三大区第十八小区管内村名

岡川村石川、寒田村、且野原村、鴛野村、宮崎村、光吉村、高瀬村仲、高城、
口戸村、木上村、市村世利、玉沢村桑本、雄城、
下宗方、
下宗方、
下宗方、

全区戸長名簿

第三大区第十八小区々々長 志柿徳次郎
全 戸長 土肥三郎兵衛、釘宮備、首藤哲一
全 副戸長 池辺武夫、麻生市郎治、佐藤七郎、後藤忠敦、山村澄
三、広瀬伊九馬

明治十七年 八月改正 役場位置と所管村名

光吉村且ノ原村、鴛野村、寒田村、宮崎村、光吉村、田尻村、岡川村、
高瀬村、
玉沢村上宗方村、下宗方村、玉沢村、市村、
口戸村、木上村、

明治二十二年 三月二日改正 村区域名称

東植田村、光吉村、宮崎村、田尻村、岡川村、鴛野村、且野原村、
寒田村、高瀬村、
植田村、玉沢村、木上村、
口戸村、
市村、上宗方、下宗方、

（立川記）